

Data(2015年1月現在)

所在地：〒656-0026 兵庫県淡路市志筑 1456-4

スタッフ：魚里明子(教授)、伊木智子(准教授)、
古川秀敏(准教授)、前田則子(講師)

URL <http://www.kki.ac.jp/>



関西看護医療大学看護学部 地域・在宅看護学分野

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、2006(平成18)年4月に看護学部看護学科の単科大学として、兵庫県淡路島で誕生しました。2013(平成25)年4月には、大学院看護学研究所(修士課程)がスタートしました。「慢性看護学分野」「地域看護学分野」「母性看護・助産学分野」から構成され、助産師養成も行っています。

建学の精神は「一隅を照らす」(自らの持ち場を最高のものと信じて、責任感をもち、喜びを感じながら、誠心誠意を尽くしていく姿勢)です。島は少子高齢化が進んでおり、超高齢社会に向かう日本の将来の姿であり、今後ますます重要となる保健医療福祉の場(一隅)を照らす看護職をめざした教育カリキュラムを展開しています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学科の定員は80名、保健師選択課程の学生は定員30名です。保健師選択学生のみならず、「地域看護を視野に入れた幅広い視点」を全員の学生にもってもらうために、地域に密着した演習、実習を行っています。とくに演習では、NEV(Nursing Education Volunteer)として、地域住民が協力してくれています。淡路島には3つの市がありますが、住民も比較的定着しており、地域が限定されていますので、それぞれの地域特性がわかりやすく、それを活かした地域看護診断、健康教育、演習、実習ができています。

ひとこと

本学は、男子学生の占める割合が3割弱と、高い比率を占めています。真面目な女子学生というかつての看護学生のイメージからはほど遠い彼たちに、最初は戸惑いましたが、「看護のパラダイムシフト」を感じる今日この頃です。女性が多くを占めている看護職ではありますが、男性保健師、男性看護師の特性を活かした既存のイメージにとらわれない教育の必要性和将来性を感じます。
……魚里

Research

どのような研究をしていますか？

在宅看護学と保健師課程のカリキュラムを担当している地域・在宅看護学領域の研究では、生活習慣病予防、認知症などの研究をしています。2013年度からは大学院修士課程もでき、研究に関しての基盤も整いつつあります。

これまでの主な研究テーマは、「認知症高齢者と生活する家族の認知症に対する認識」「県民交流広場参加者の保健行動と健康意識の実態調査」「在宅高齢糖尿病患者のセルフケア」「大学との協働による『生活習慣病予防のための個別支援事業』を実践した保健師の経験」などです。さらに、介護・福祉や産業保健分野での研究にも取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学は、淡路島内の地域住民から、大きな期待が寄せられています。開学当時は知名度も低く、地元の住民すら大学の存在を知らないという状況でした。そんな中、住民に関心のあるテーマで市民講座を開催したり、各種団体や住民組織の講師を引き受けたり、地域における大学の役割を高める努力を重ねてきました。淡路島内の自治体とは、生活習慣病予防や介護予防、子育て支援の関連事業、各保健福祉計画の策定委員や助言者として協力しています。また、保健医療のみならず福祉関連の方々とも事業や共同研究を進めています。

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp